

石議議第166号の2

令和5年9月27日

議 員 殿

石川県議会議長 焼 田 宏 明

(公 印 省 略)

質問趣意書及び答弁書の配付について

9月21日、佐藤正幸議員より石川県議会会議規則第65条第1項の規定に基づき知事及び教育長に対する文書質問があったので、同条第4項の規定により、質問趣意書及び答弁書を別添のとおり配付します。



令和5年9月21日

石川県議会議長
焼田宏明 殿

石川県議会議員 佐藤正幸 

質問趣意書

石川県議会会議規則第65条第1項の規定に基づき、下記のとおり文書
質問したいので、質問趣意書を提出します。

記

- 1 質問事項
別紙のとおり
- 2 指定答弁者
別紙のとおり



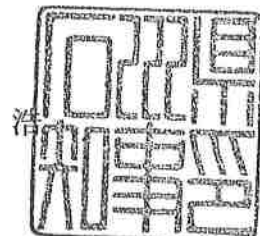
質 問 事 項	指 定 答 弁 者
<p>1 医療機関・福祉施設への支援について</p> <p>(1) 6月補正予算に計上された物価高騰対策支援金の申請受付・支給事務はどこが担っているのか。</p> <p>(2) 「石川県新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業」について、支給が遅いと聞くが、現在の申請件数と支給件数を聞く。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p>
<p>2 賃上げ実施事業者への支援について</p> <p>9月補正予算に計上された、国の業務改善助成金への県独自の上乗せ支援は、設備投資が要件となっており、赤字企業にとっては賃上げと同時に進めるには使い勝手が悪いと指摘されているが、そのような認識があるか。</p>	<p>知 事</p>
<p>3 石川中央都市圏地域公共交通協議会について</p> <p>北陸鉄道石川線存続の方向性を決定した沿線自治体の首長会議について、協議会規則での位置づけと、なぜ知事がオブザーバー参加なのか聞く。</p>	<p>知 事</p>
<p>4 再生可能エネルギーの利用拡大について</p> <p>神奈川県のように、全ての県立高校で使用する電力を再生可能エネルギーで発電した電力に変えるよう検討すべきと思うがどうか。</p>	<p>教 育 長</p>
<p>5 小松基地について</p> <p>イタリア・オーストラリア軍との共同訓練は、小松基地ホームページで紹介されている「主に日本海正面における国籍不明機の警戒に当たっている」との基地の役割を逸脱していると考えがどうか。</p>	<p>知 事</p>



財 第 1 7 8 号
令和5年9月26日

石川県議会議長
焼 田 宏 明 様

石川県知事 馳



文書質問について（回答）

令和5年9月21日付石議議第149号による質問趣意書について、別紙のとおり回答します。



事務担当
財政課 財務管理班
(内線 3445)

(別紙)

1 医療機関・福祉施設への支援について

- (1) 6月補正予算に計上された物価高騰対策支援金の申請受付・支給事務はどこが担っているのか。

今般の物価高騰対策支援金の申請受付・支給事務については、公募型のプロポーザル方式により選定し、契約を締結した株式会社JT Bが担っているところである。

- (2) 「石川県新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業」について、支給が遅いと聞くが、現在の申請件数と支給件数を聞く。

本事業については、現在、557事業所分の申請をいただいたもののうち、161事業所に支給したところである。

2 賃上げ実施事業者への支援について

9月補正予算に計上された、国の業務改善助成金への県独自の上乗せ支援は、設備投資が要件となっており、赤字企業にとっては賃上げと同時に進めるには使い勝手が悪いと指摘されているが、そのような認識があるか。

国の業務改善助成金は、事業場内最低賃金の引き上げを図るため、中小企業・小規模事業者の生産性向上を支援するものであり、生産性向上に資する設備投資等を支援しているものと承知している。

3 石川中央都市圏地域公共交通協議会について

北陸鉄道石川線存続の方向性を決定した沿線自治体の首長会議について、協議会規則での位置づけと、なぜ知事がオブザーバー参加なのか聞く。

北陸鉄道石川線・浅野川線のあり方が議論されてきた石川中央都市圏地域公共交通協議会は、副市長や副町長が委員となって構成されているところ、鉄道存続又はBRT化の最終決定は非常に重要な判断となることから、協議会の了承を得たうえで、協議会とは別に、北陸鉄道の鉄道線沿線の市長や町長による会議が開催されたものと承知している。

また、知事のオブザーバー参加については、沿線自治体首長会議開催にあたり、首長会議の代表者である金沢市長から、知事に対し、オブザーバーとしての参加依頼があり、それに応じたものである。

5 小松基地について

イタリア・オーストラリア軍との共同訓練は、小松基地ホームページに紹介されている「主に日本海正面における国籍不明機の警戒に当たっている」との基地の役割を逸脱していると考えらるがどうか。

今回の両軍との共同訓練は、航空自衛隊の戦術技量の向上及び相互理解の促進を図るとともに、「自由で開かれたインド太平洋」の実現のための防衛協力の更なる深化を図ることを目的に実施されたものと承知している。

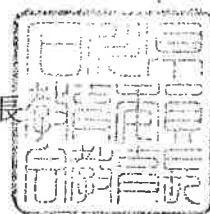
なお、ご指摘の小松基地ホームページにおける紹介文は、基地の主な役割を記載しているものであり、役割の範囲については、国の責任で整理されるべきものと考えている。



教企第26号
令和5年9月26日

石川県議会議長様

石川県教育委員会教育長



文書質問について（回答）

令和5年9月21日付石議議第149号による文書質問について、別紙のとおり回答いたします。



（事務担当）
企画調整室 西方
5526（内線）

(別紙)

4 再生可能エネルギーの利用拡大について

神奈川県のように、全ての県立高校で使用する電力を再生可能エネルギーで発電した電力に変えるよう検討すべきと思うがどうか。

県立学校においては、15校で改築などの際に太陽光発電設備を整備し、再生可能エネルギーで発電した電力を活用している。

なお、県立学校の使用電力を再生可能エネルギーで発電した電力に変更する場合には、料金が割高になることなどから、今のところ考えていない。